

日行連発第1391号  
平成28年3月18日

各 単 位 会 長 殿

日本行政書士会連合会  
会 長 遠 田 和 夫

法令遵守に関する会員の指導方について（お願い）

本年1月27日に司法書士法違反容疑で逮捕された会員に関して、同年1月29日に会長談話として「司法書士法違反容疑での行政書士の逮捕に関して」を本会ホームページにおいて掲載いたしておりましたが、事案発生管轄署の京都府警察本部より、法令遵守徹底を含めた別紙の会員指導依頼がございました。

各単位会におかれましては、あらためて所属会員に対する本件の周知徹底と今後二度と同様な違反事案が発生しないよう、法令遵守の指導徹底をお願いいたします。

以上、ご理解ご協力をお願い申し上げます。

以上

<別紙>

「各行政書士会及び会員の皆様に対する法令遵守に向けた指導について（依頼）」  
（平成28年3月2日付・生対第139号 京都府警察本部生活安全部長）

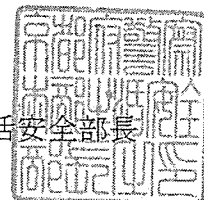
生 対 第 1 3 9 号

平成 28 年 3 月 2 日

日本行政書士会連合会

会長 遠田 和夫 殿

京都府警察本部生活安全部長



各行政書士会及び会員の皆様に対する法令遵守に向けた指導について（依頼）

先般、大阪府行政書士会所属の行政書士の男性が、中国人から長期の在留が可能な「投資・経営」（平成27年出入国管理及び難民認定法の改正により「経営・管理」に変更）の在留資格を得たいとの依頼を受け、登記に関する手続きについての代理や法務局に提出する書類を作成するなど、司法書士法第3条に規定された業務を行ったとして、司法書士法違反で検挙いたしました。

当該行政書士の男性は、依頼の目的や当該行為が違法であることを充分認識しながら、その前提となる法人登記に関する手続きを約10年にわたり繰り返し行っていたものであります。

昨今、中国を始め、多くの外国人旅行者らが来日しており、今後、ますますその増加が予想される中、本邦において、資格外活動により不法に利益を得ることを目的に来日を企てる不良外国人も見受けられます。

日々の業務におかれましては、これらの現状について、ご理解とご留意をいただくとともに、各行政書士会及び会員の皆様に対して、行政書士法を始め各法令の厳格な遵守に努めていただきますようご指導願います。

担当

京都府警察本部生活安全対策課

保安捜査係

電話 075-451-9111（内線3461）